

第4章 ポートフォリオの構築

ここでは、ポートフォリオを構築する際の基本的な手順についてご紹介します。

1. マーケットを予測する

有価証券化されている全てのアセットを扱った国際分散投資を行う際に、まず行うのが、マーケットの予測になります。国際情勢、エネルギー問題等、幅広い見識が必要になります。各アセットクラス毎に、セクター・国単位で、おおまかにご自身の将来予測を明確にしましょう。

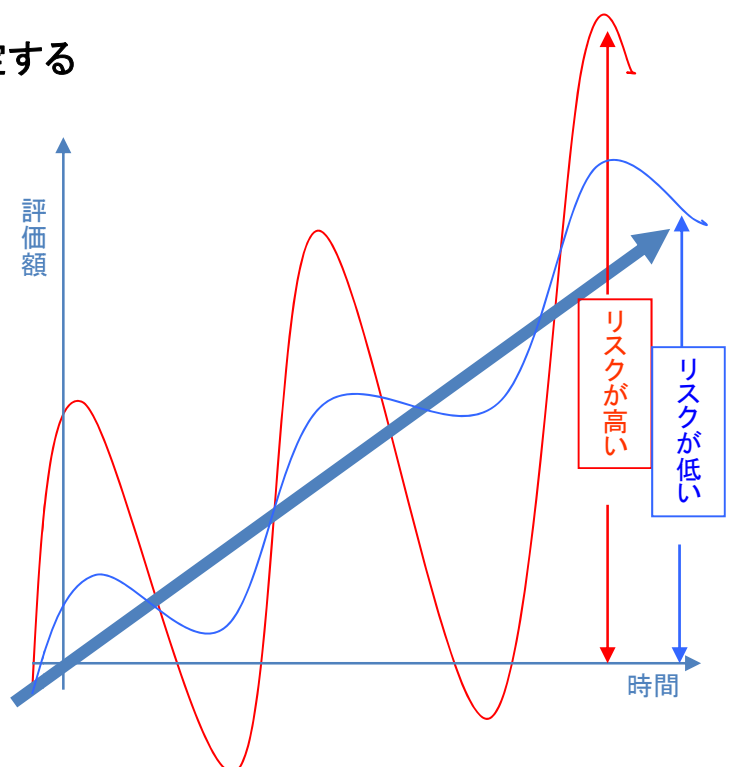
- 【 株 式 】 エネルギー、素材、資本財、消費循環、生活必需品、ヘルスケア等
- 【 内 外 債 】 ドイツ、英国、米国、カナダ、ブラジル…
- 【 コモディティ 】 エネルギー、産業金属、貴金属、穀物…
- 【 投 資 信 託 】 日本、中国、韓国、米国、ロシア…
- 【 不 動 産 】 米国、英国、日本、カナダ
- 【 為 替 】 欧州、円、ドル、ポンド、ユーロ…

2. 運用方針と目標とする利回りを決定する

運用方針には、大きく分類して、ハイリスクハイリターン、ミドルリスクミドルリターン、ローリスクローリターンの3つがあります。元本の安全性重視する場合は、ロー。利回り・値上がり益を追及する場合は、ミドル。高い利回り・大幅な値上がり益を追及する場合は、ハイになります。

資金の性格や目的に適した方針を設定します。

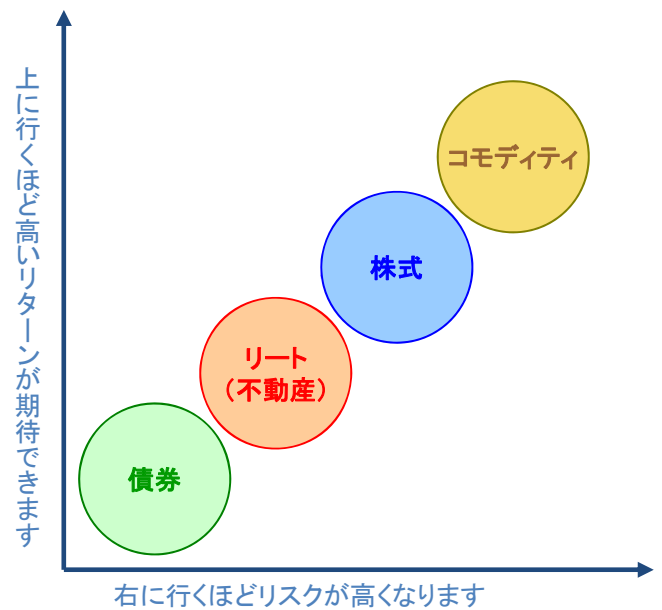
また、一般的な目標利回りのイメージは、ローが2.5%、ミドルが5%、ハイが10%程度となります。



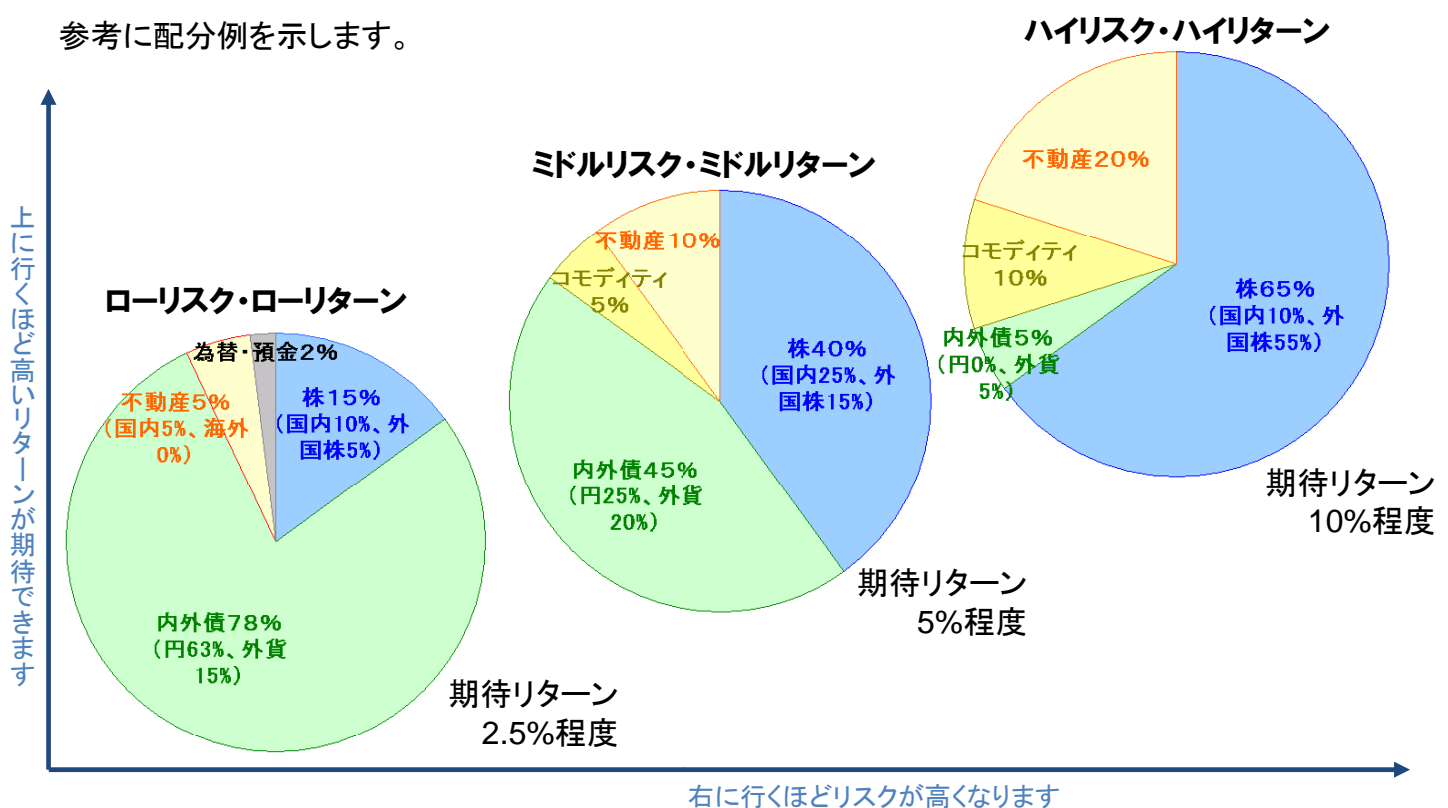
3. アセットクラスの配分を考える

運用方針を決めたら、アセットクラスの配分を決めます。
 配分は、投資方針に合わせて行います。

左のグラフでは、横軸にリスク(標準偏差)を、縦軸にリターンをとっています。右上に行くほど「ハイリスク・ハイリターン」、左下に行くほど「ローリスク・ローリターン」となります。従ってポートフォリオを運用する際、「ローリスク・ローリターン」型のポートフォリオには、リスクの低い債券の保有比率が高くなります。一方、「ハイリスク・ハイリターン」型のポートフォリオは価格変動性が高い株式やコモディティの保有比率が高くなります。以上を考慮し、配分を設定します。



参考に配分例を示します。



4. 各アセットクラス毎に銘柄選定と配分を考える

アセットクラスの配分が決定したら、いよいよ銘柄選定に入ります。
銘柄選定は、アセットクラス毎に行います。銘柄を選定したら、それぞれの配分を考えます。
期待利回りの計算をしながら、自身の投資方針に適したポートフォリオになるよう、選定と配分を繰り返していきます。

5. 設定したポートフォリオと投資方針の乖離を確認する

ポートフォリオが完成したら、再度、投資方針に合致しているか確認します。

資産運用は、短期で評価すべきものではありません。
投資対象の検討に当たっては、投資対象のリスクとリターンを知る必要があります。
そのためには、常に、各投資対象の値動きだけでなく、国際情勢や環境問題など多くの情報にも耳を傾けておくことが必要になります。
ご自身の投資方針に合致した、バランスのよいグローバル分散投資を心掛けてください。